

近況報告会

株式会社 タツミ

代表取締役社長

山本千秋

JASDAQ

本日の報告内容

1. 前中期(第6次)の総括と2008年3月期の振り返り
2. 新中期(第7次)経営計画概要
3. 販売戦略
4. 技術戦略
5. 成長戦略
6. コーポレート・ガバナンス
7. CSR(企業の社会的信頼)

～質疑・応答

1. 前中期(第6次)の総括と (’06年3月期～’08年3月期)

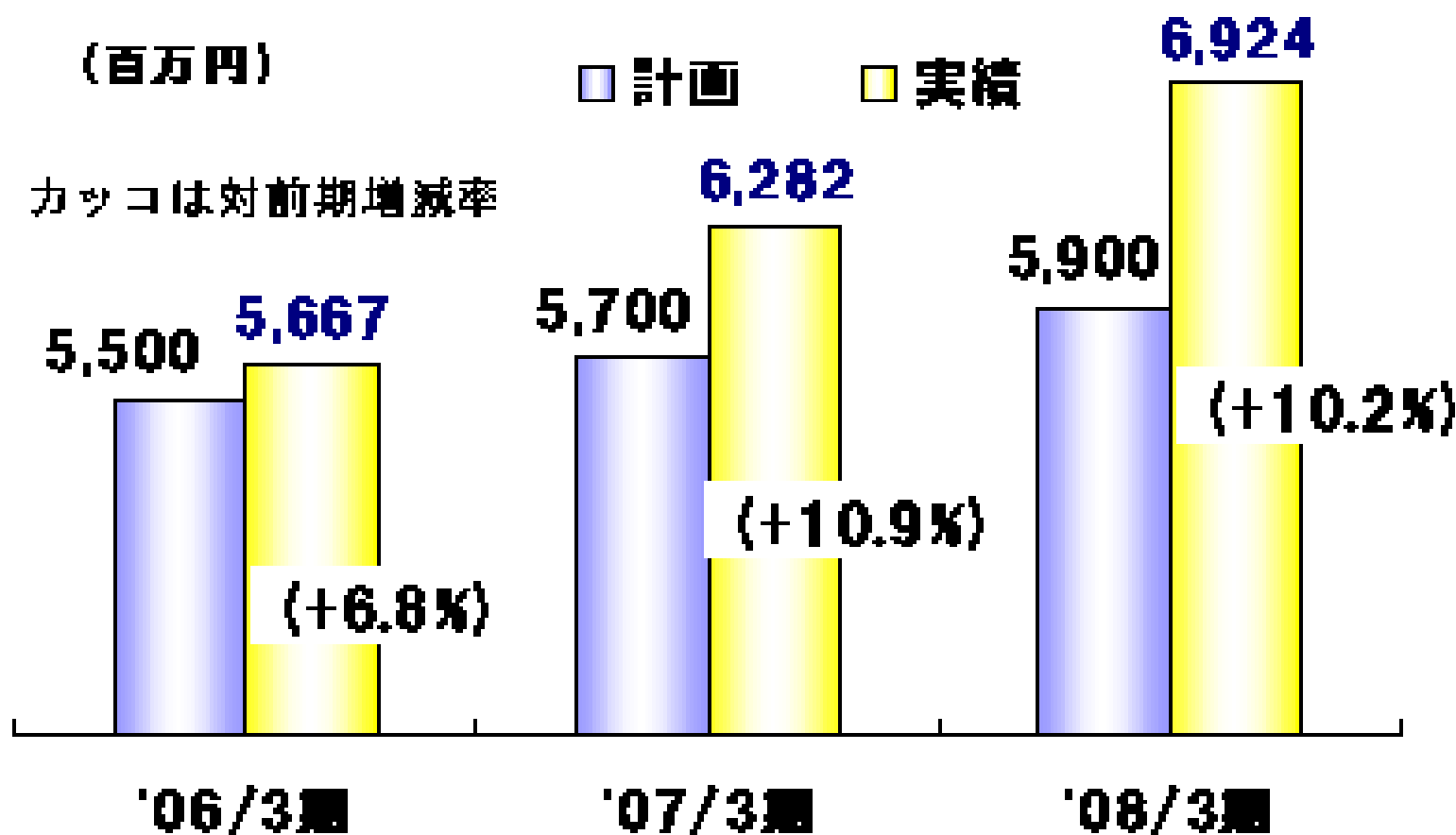
2008年3月期 振返り

財務狀況

【売上高】

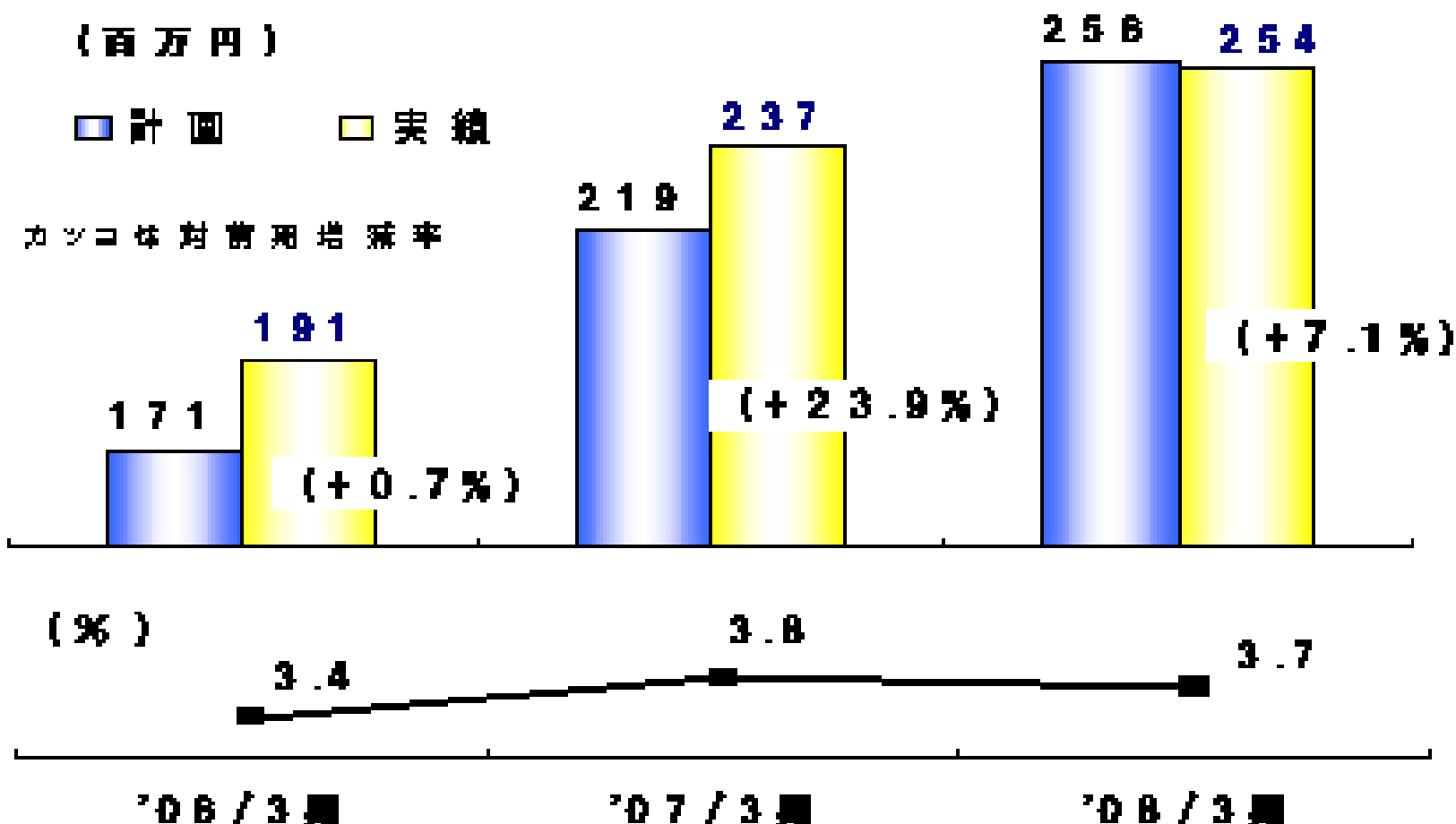
'07/3期... '08/3期計画の5,900百万円を1期前倒して達成

'08/3期... VSA部品の増産とシャフト戦略部品の好調で2期連続で2ケタの躍進



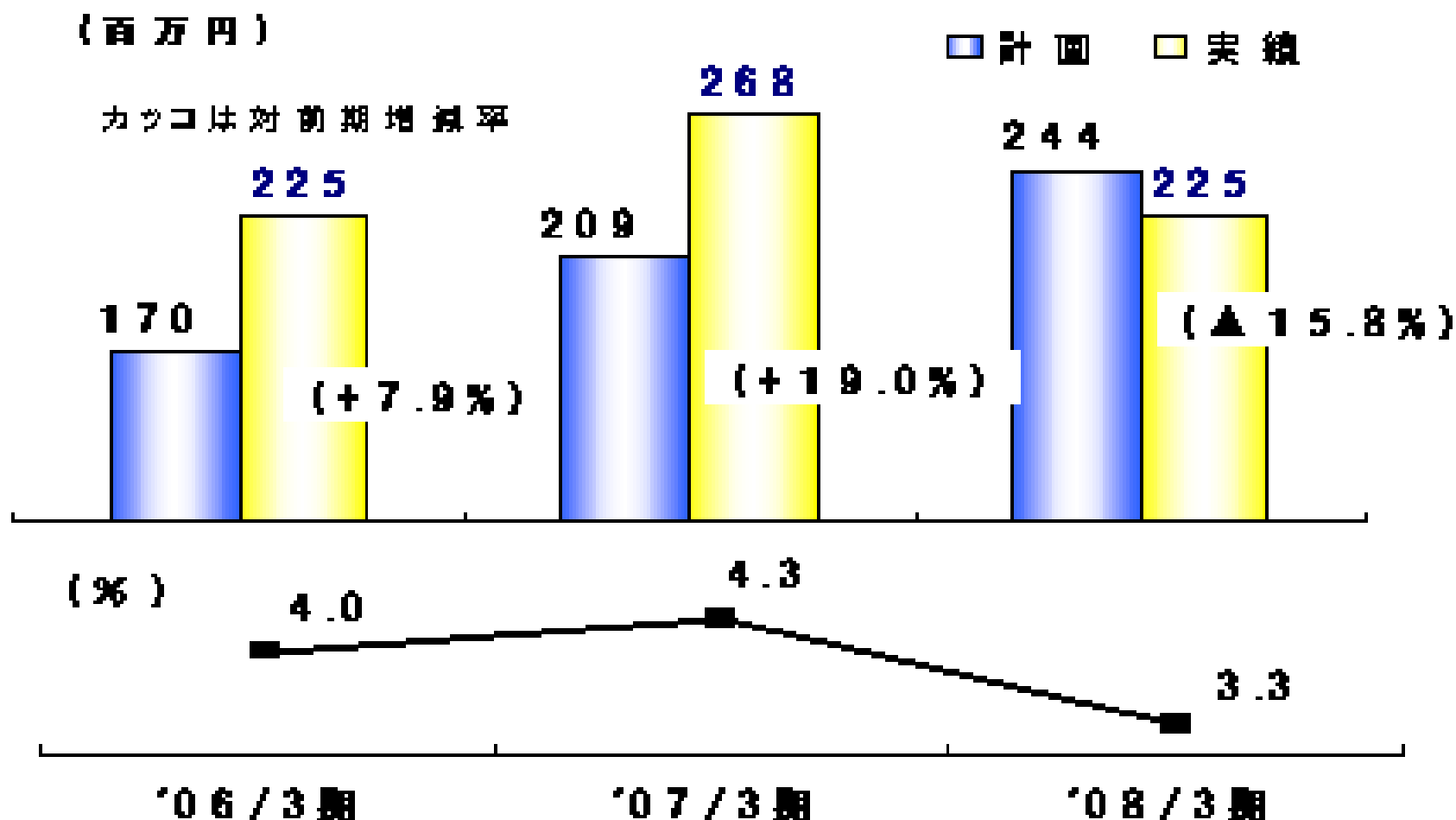
【営業利益】

'08/3期...原材料・原油関連製品の値上げや航空便・臨時便費用の増加があったものの、増収効果により前期比では、17百万円の増益(計画比▲2百万円)



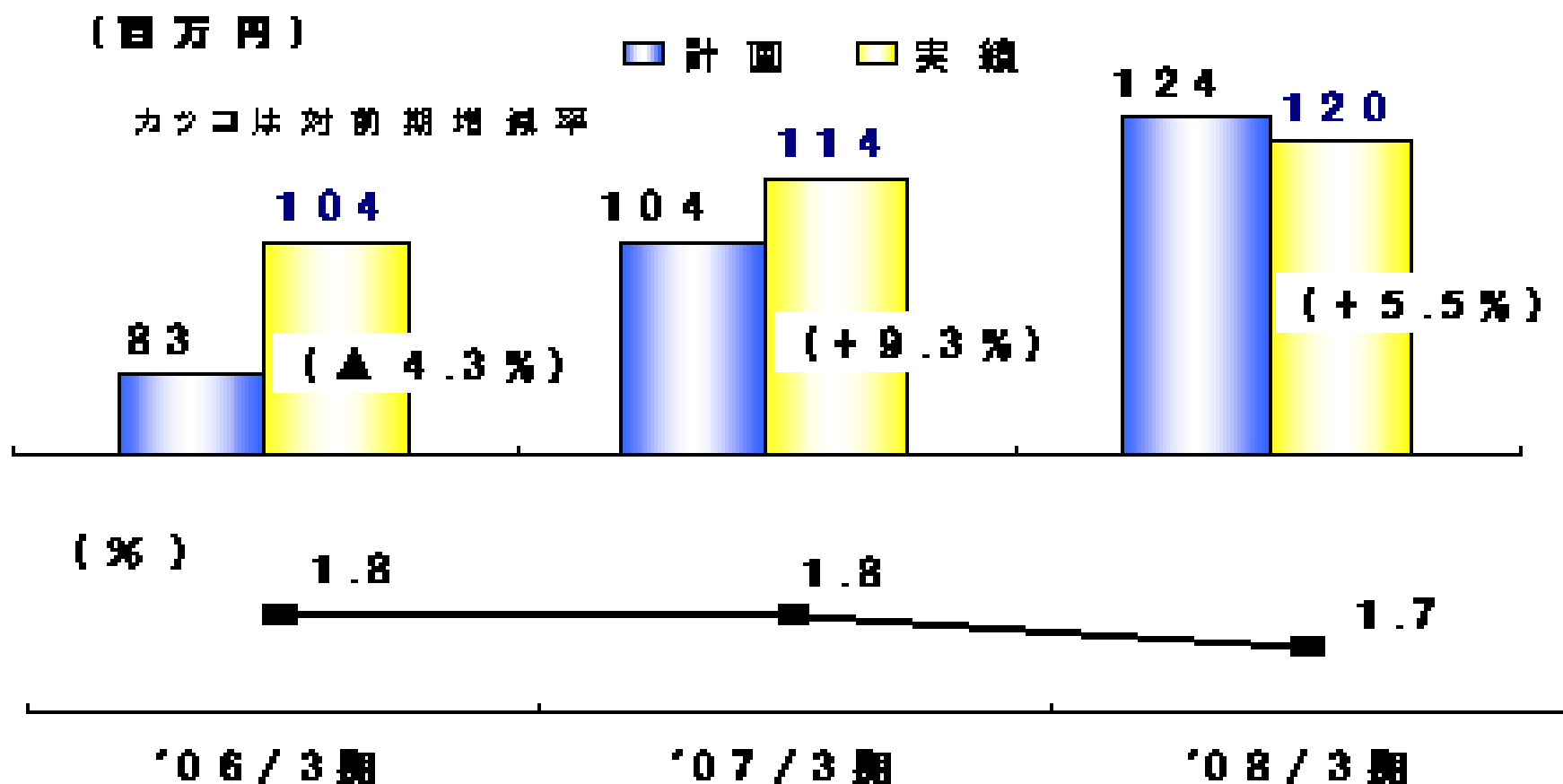
【經常利益】

'07/3期...有価証券売却益(28百万円)が寄与、過去最高益を計上
 '08/3期...為替差損(31百万円)により計画比19百万円減益



【当期利益】

'08/3期...ほぼ計画どおりの120百万円を確保をすることができた。

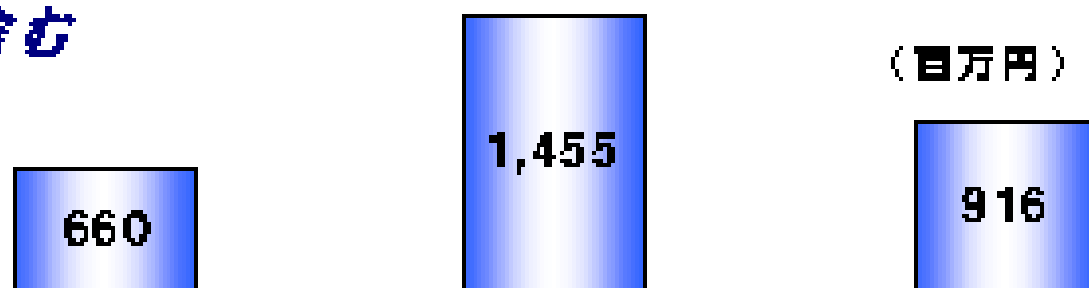


【設備投資】

第6次中期計画2,700百万円 ⇒ 実施額3,031百万円

⇒計画外...4軸ブレーキVSA用2号機(増産)・ニッケルめっき装置(内製)

《投資額》リース含む

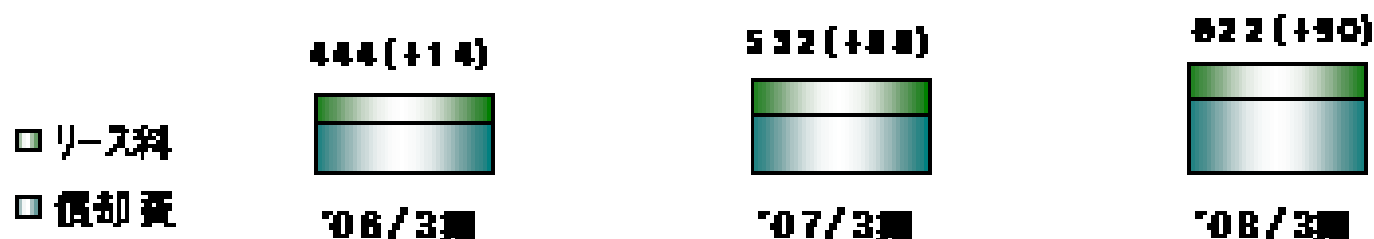


【主な投資内容】

① 産機	74	330	124	(528)
② メッキ・塗装機	-	514	98	(812)
③ 電機部品用装置	159	197	21	(377)
④ ブレーキ部品用装置	-	48	294	(340)
⑤ 圧造機	132	-	-	(132)

(償却費・リース料)

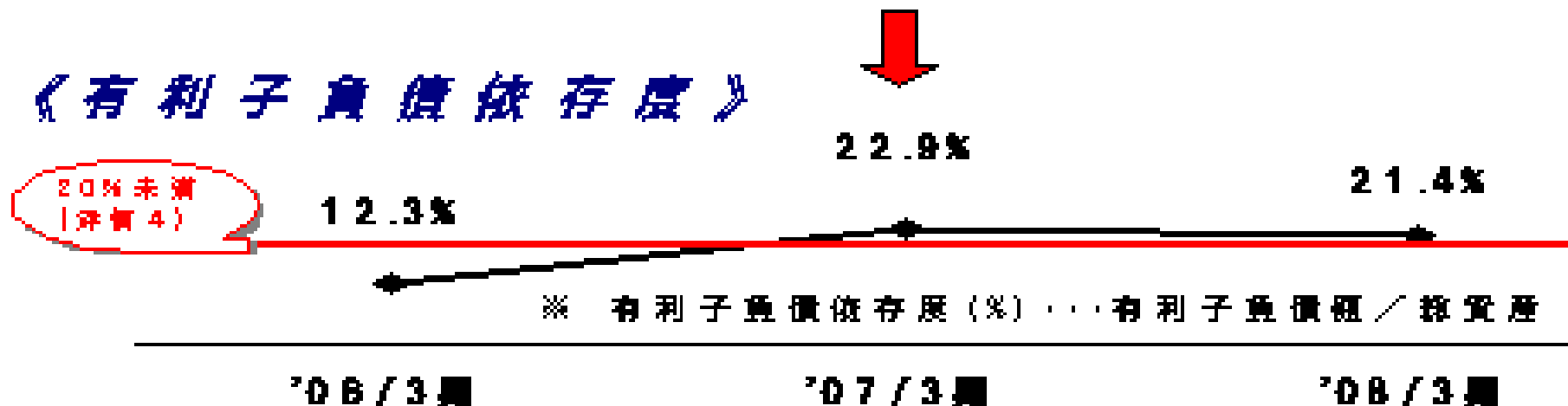
カッコ内は前年比増加額



【有利子負債依存度・負債額】

'07/3期は設備500百万円・メキシコ投資300百万円の借入を実施

《有利子負債依存度》



《有利子負債額》

百万円

648

1,433

1,366

(支払利息)

百万円

6

9

20

'06/3期

'07/3期

'08/3期

重點施策達成狀況

【第6次 中期重点施策達成状況】

① 拡張

- ・SPU戦略管理による拡張体制の構築・・・'07/3期 完了
- ・冷間鍛造の取組み準備→事業戦略の遂行・・・拡張取組中

② コスト競争力改善

- ・TPマネジメント推進・・・合理化額
→('06/3期) 187百万円、('07/3期) 203百万円、('08/3期) 295百万円
- ・金型製作の内製フル稼働→2直体解・・・2直要員研修完了(2名)
- ・全社生産性向上30%・・・つなぎ自動ライン8本完成
('06/3期12%→'07/3期 11%→'08/3期11%)

③ 体質強化

- ・TPM優秀賞→設備メンテナンスの自動化・・・'07/10月 受賞
- ・生産管理sys.の改革(ERPの活用)・・・'08/1月 導入
- ・監査室による内部統制体制の確立・・・'06/4月設置

④ グループ経営強化

- ・CMM(×キシコ工場) → 電装品加工用 新3ラインの安定稼働
・・・'07/4月 設備搬入済('07/12月期年商 前期比25%増)
- ・CMM累積赤字解消・・・'08/12月期 解消予定
- ・AMC(米國販売拠点) 新規顧客の開拓・・・トヨタ國日系メーカーへの参入決定

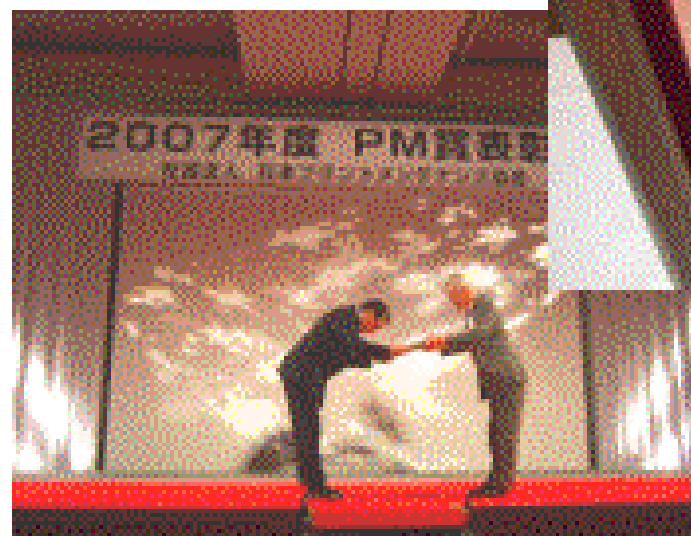
トピックス

07年10月

108/2期版迄

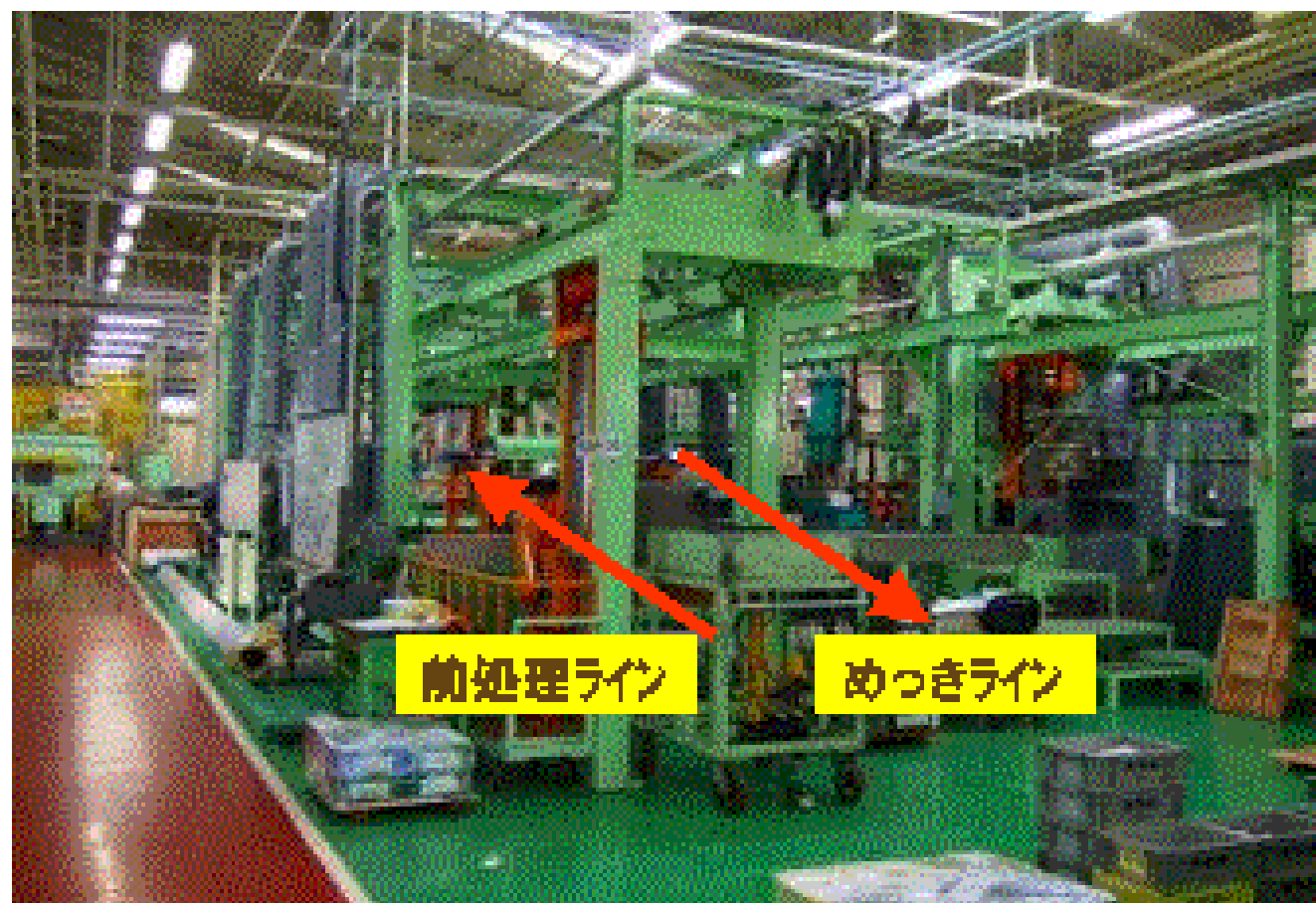
TPM優秀賞 合格

2007年12月4日 表彰式
パシフィコ横浜アネックスホール於



07年12月 内製化対応

ニッケルめっきライン完成



・稼働体制

2直16H稼働

・月間生産量

40t/月(点数20品目)



07年11月 増産／内製化対応

東台(台湾)設備導入

⇒ シャフトアイドラー (4輪ウォーターポンプ用部品)



07年6月 増産対応

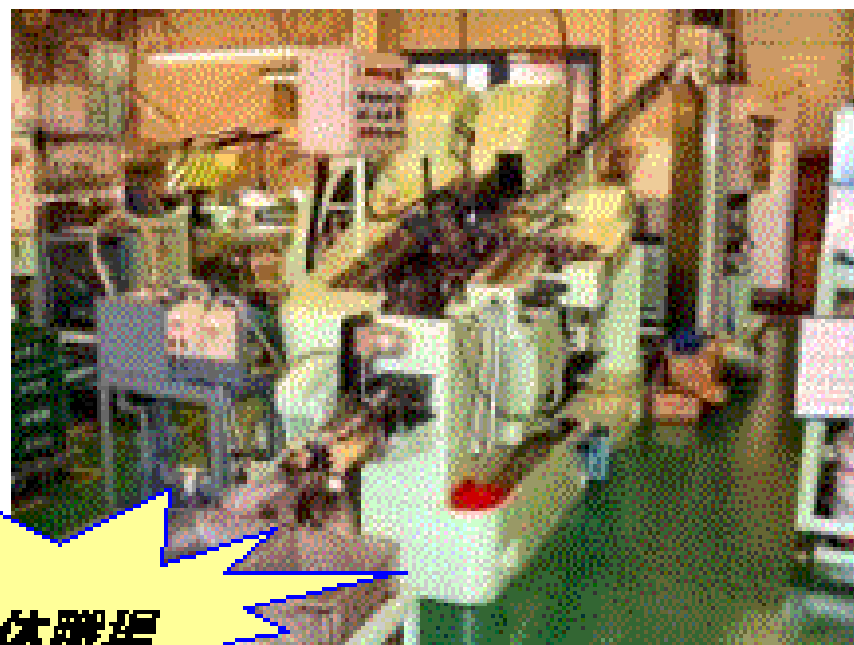
シャフトランプ(4輪ブレーキ用部品)

16万体制 ⇒ 28万個体制の確立

<新規導入...北工4軸NC切削機>



<オーバーホール...平転遣盤> 転遣加工集約



4勤2休職場

07年10月 増産対応

**NK-21ライン完成(4輪ブレーキ用部品VSA)
50万個体制の確立(DGM2号機導入)**

CNC6軸自動旋盤

DGM1号機



DGM2号機



バリ取り機

自動洗浄機(炭化水素系)



全数自動検査装置

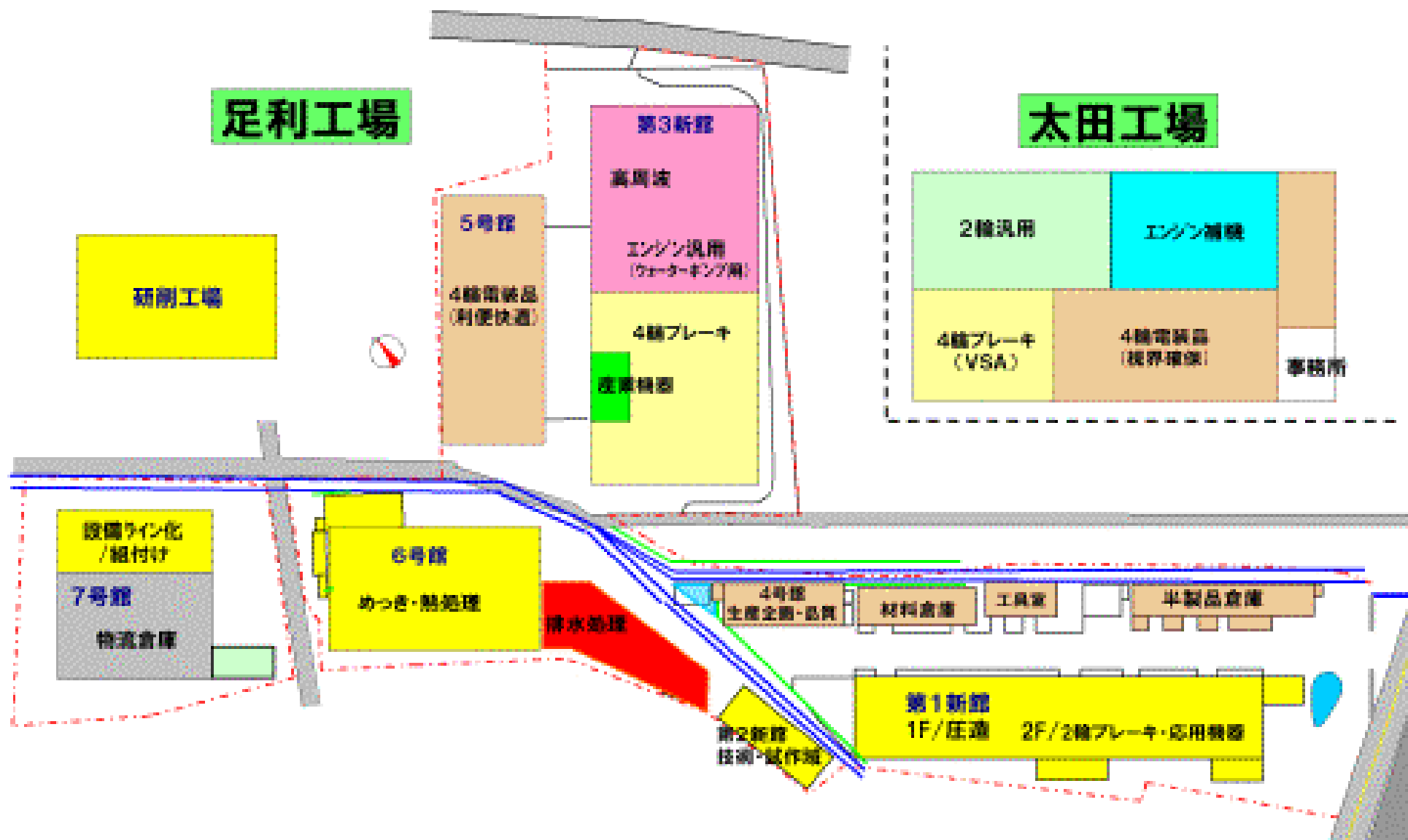


Φ11 x L26



07年9月

製品別工場レイアウト完成



お客様からの表彰

株式会社 ミツバ 殿



車両拡販特別賞

曙ブレーキ工業 株式会社 殿



VA優良賞

車両紹介販売
感謝状

2. 新中期(第7次) 経営計画の概要

(‘09年3月期～’11年3月期)

【新中期(第7次)のイメージ】

- ① アジア進出のための対象アイテムの事業成立分析が完了している。
- ② 冷鍛工場の建設計画が出来ており、生産アイテムが増加している。
- ③ 第8次中期(6年後)での100億円企業実現へのストーリーができています。(人・物・金・事業対象)
- ④ L-MACS(新生産管理sys.)が定着し、在庫半減
生産効率も上がっており、工場の足腰が強化されている。
- ⑤ TPM継続賞を受賞している。(’08/6月キックオフ)
- ⑥ ISO-TSの取組みが行われている。

【ビジョン】

冷鍛技術と切削技術をコアコンピタンスとして
一貫生産をベースに技術・技能を磨き上げ
顧客のグローバル化に対応できる企業となる

【スローガン】

お客様第一主義！ 現場・現物・現実で率先垂範！
全員で競争力ある製品（Q.C.D）づくりをし、お客様の信頼に応える

【経営方針】

- ① 品質最優先の取組みで、信頼される企業となる。
- ② コスト競争力向上を図り、収益体質を構築する。
 - ・ BMを基準とした16大製品の競争力改善を強力に推進する。
- ③ 技術・技能を磨き、事業拡大に挑戦する。
 - ・ 冷鍛技術の導入と圧造技術のコラボレーションで事業拡大に挑戦する。
- ④ マネジメントレベルを上げ、期日までにやりきる体質を作る。
 - ・ 組織を通じて目的を達成する体質をつくる。
 - ・ MITUBA WAYの実践

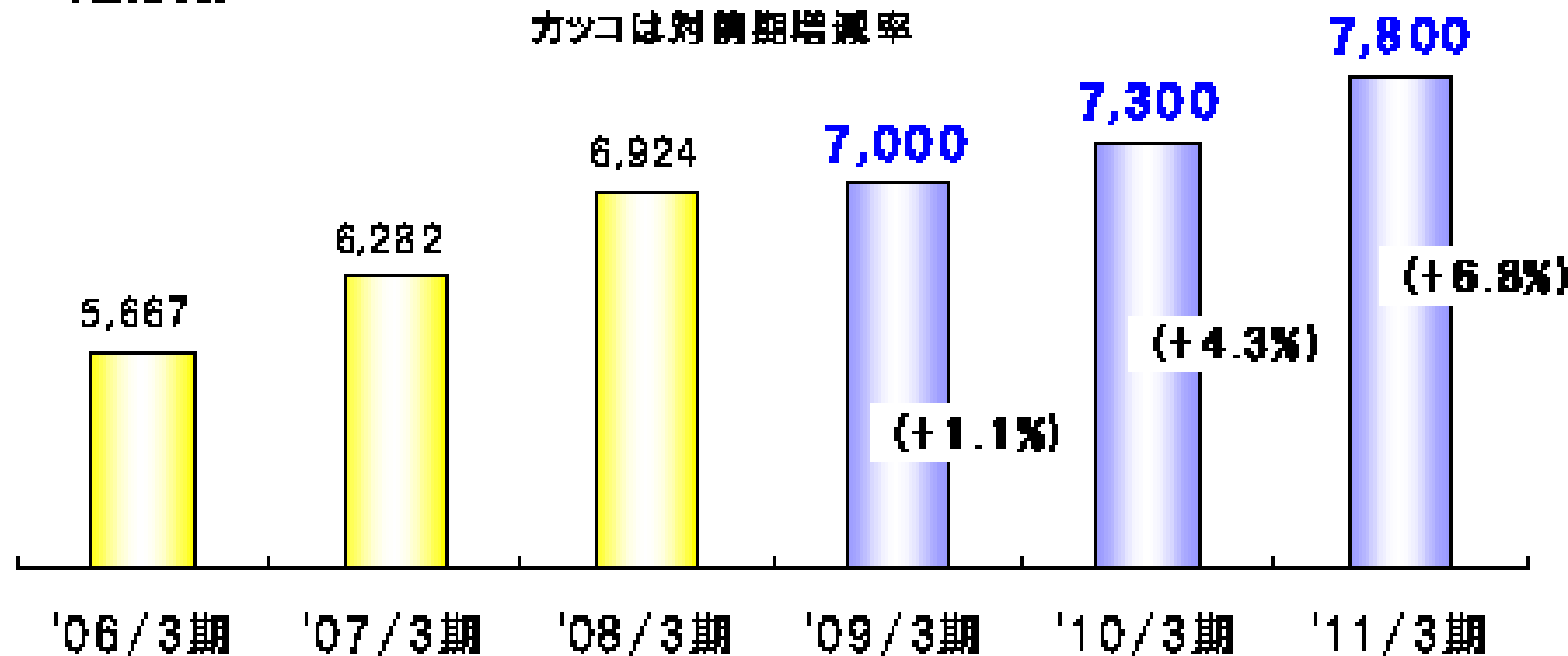
新中期(第7次)財務計画

【売上高】

'11/3期...4輪ブレーキ用部品獲得を柱に、
'08/3期比 8億円強の増収を見込む。

(百万円)

カッコは対前期増減率



'06/3期

'07/3期

'08/3期

'09/3期

'10/3期

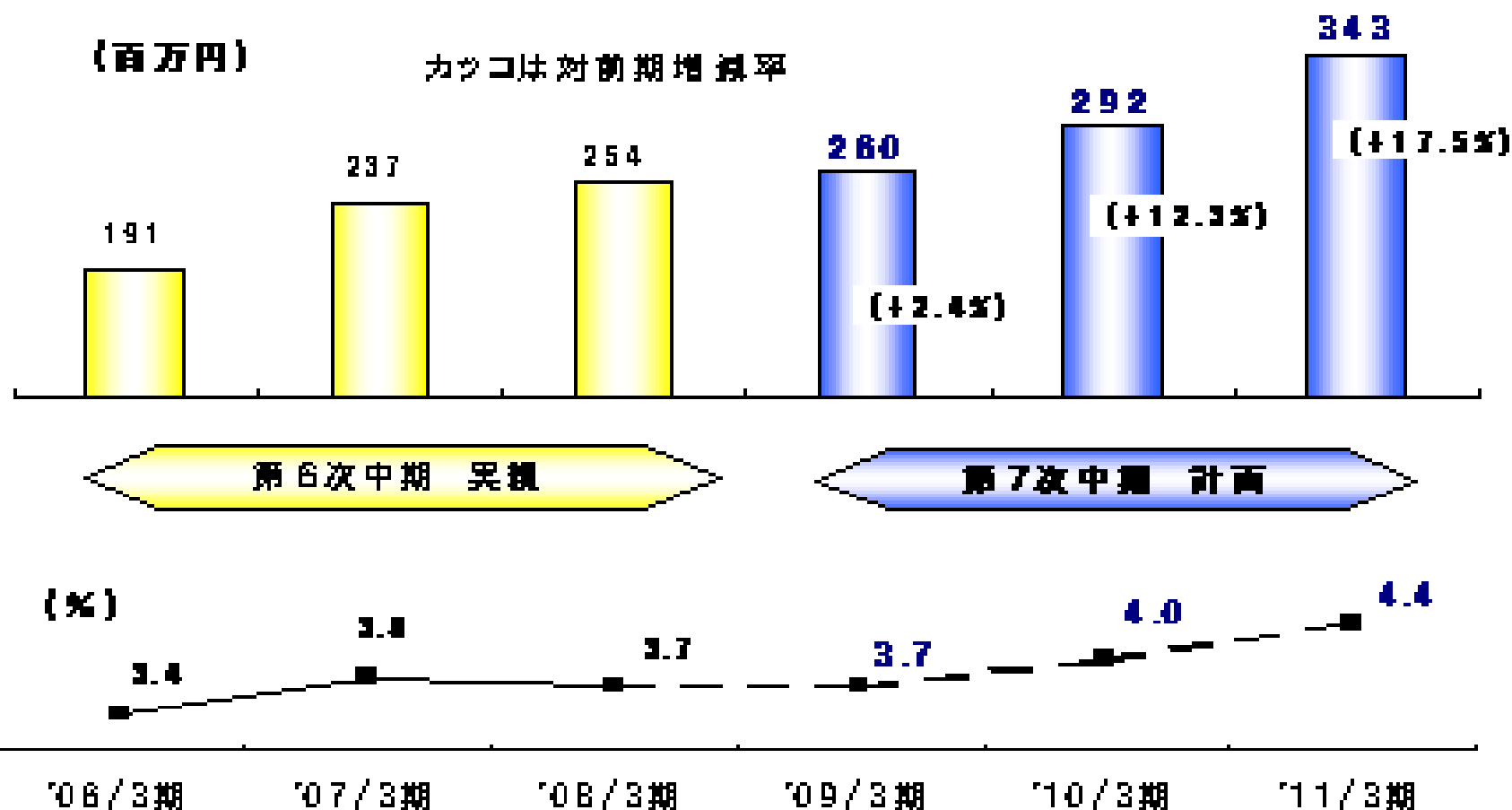
'11/3期

第6次中期 実績

第7次中期 計画

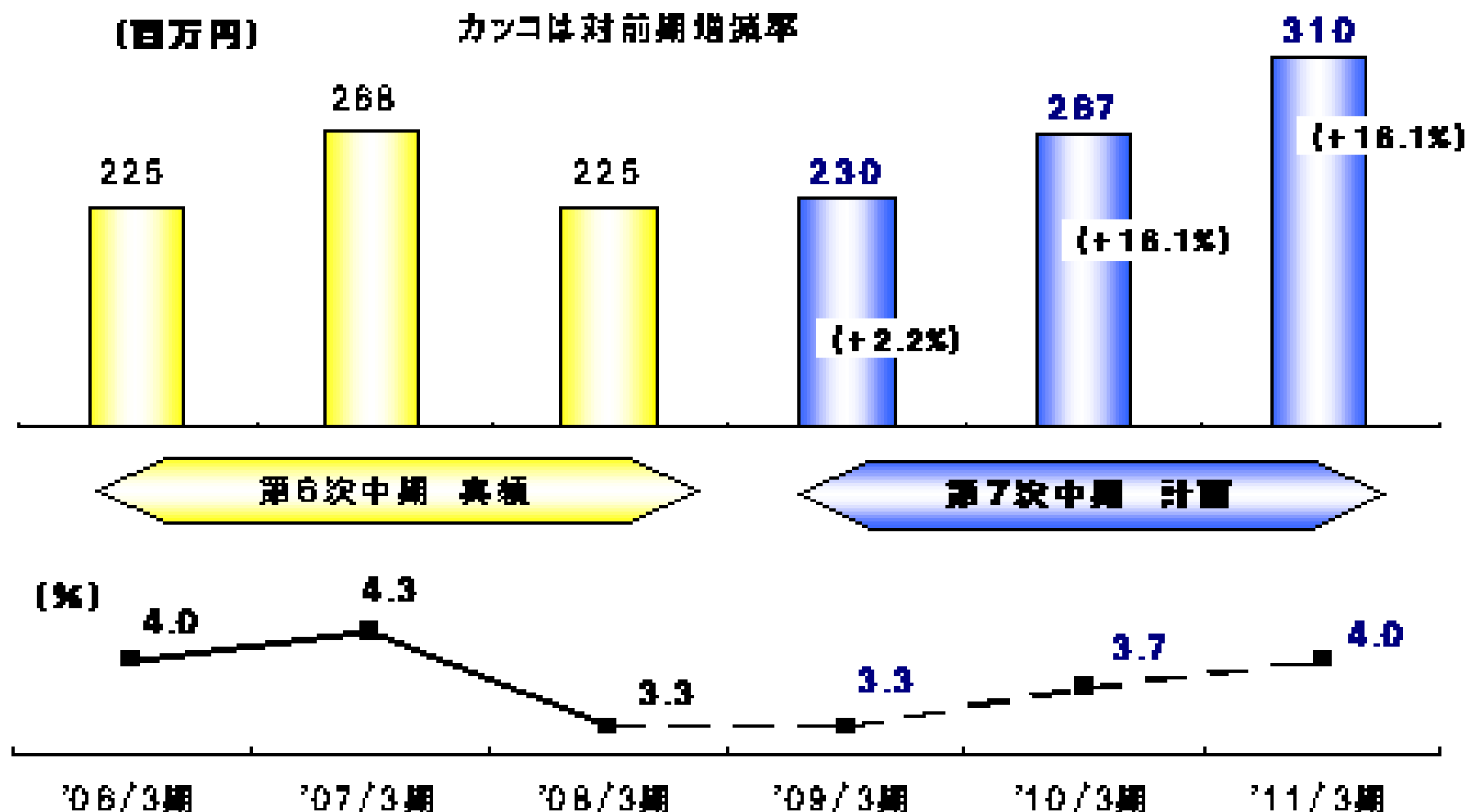
【営業利益】

'09/3期...原材料予測外の高騰による利益見通しが覆滅としている。
 '10/3期...生産性の向上と増収により売上比で4%確保を見込む



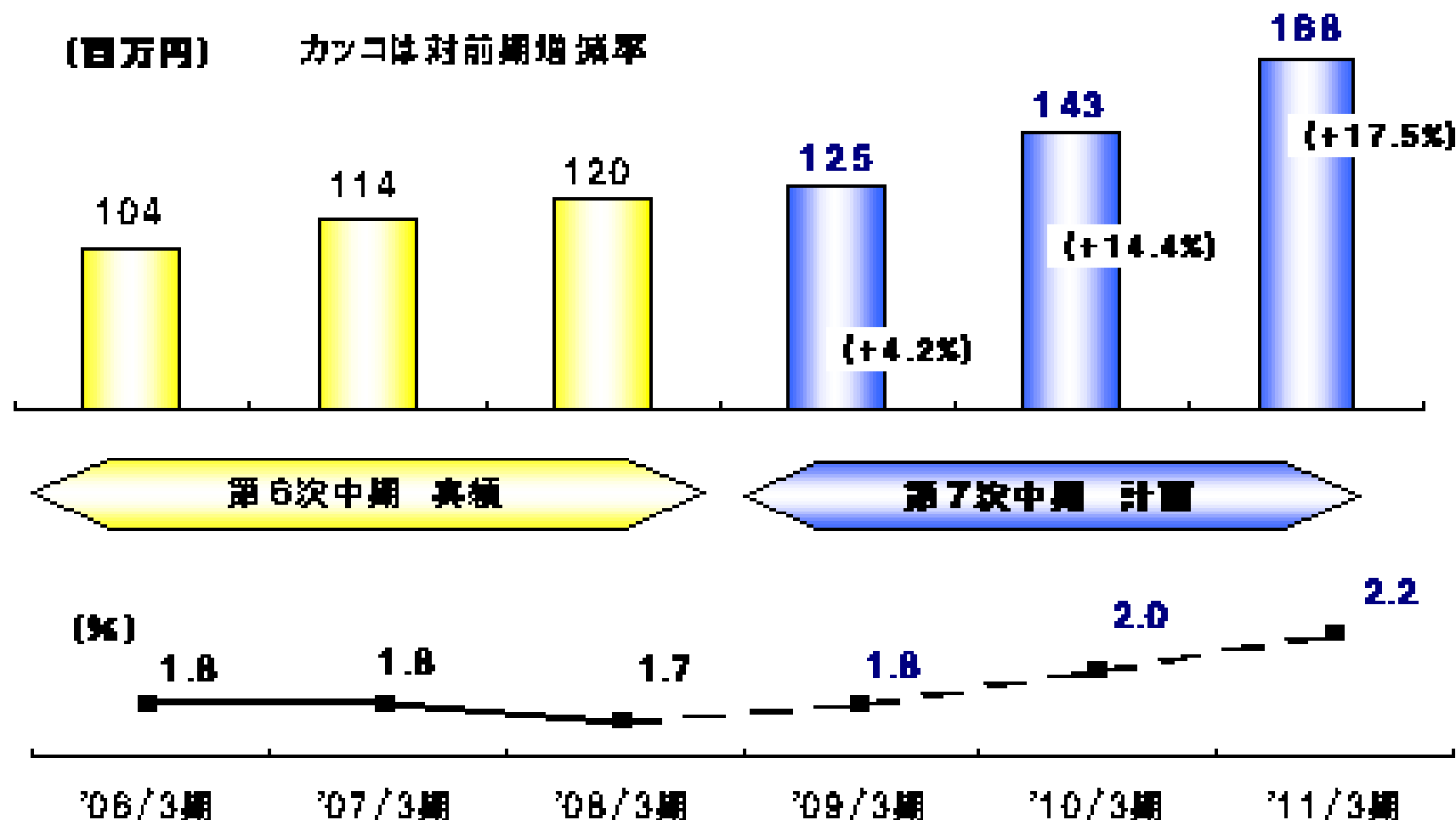
【経常利益】

'11/3期...売上比 4%台を確保する。



【当期利益】

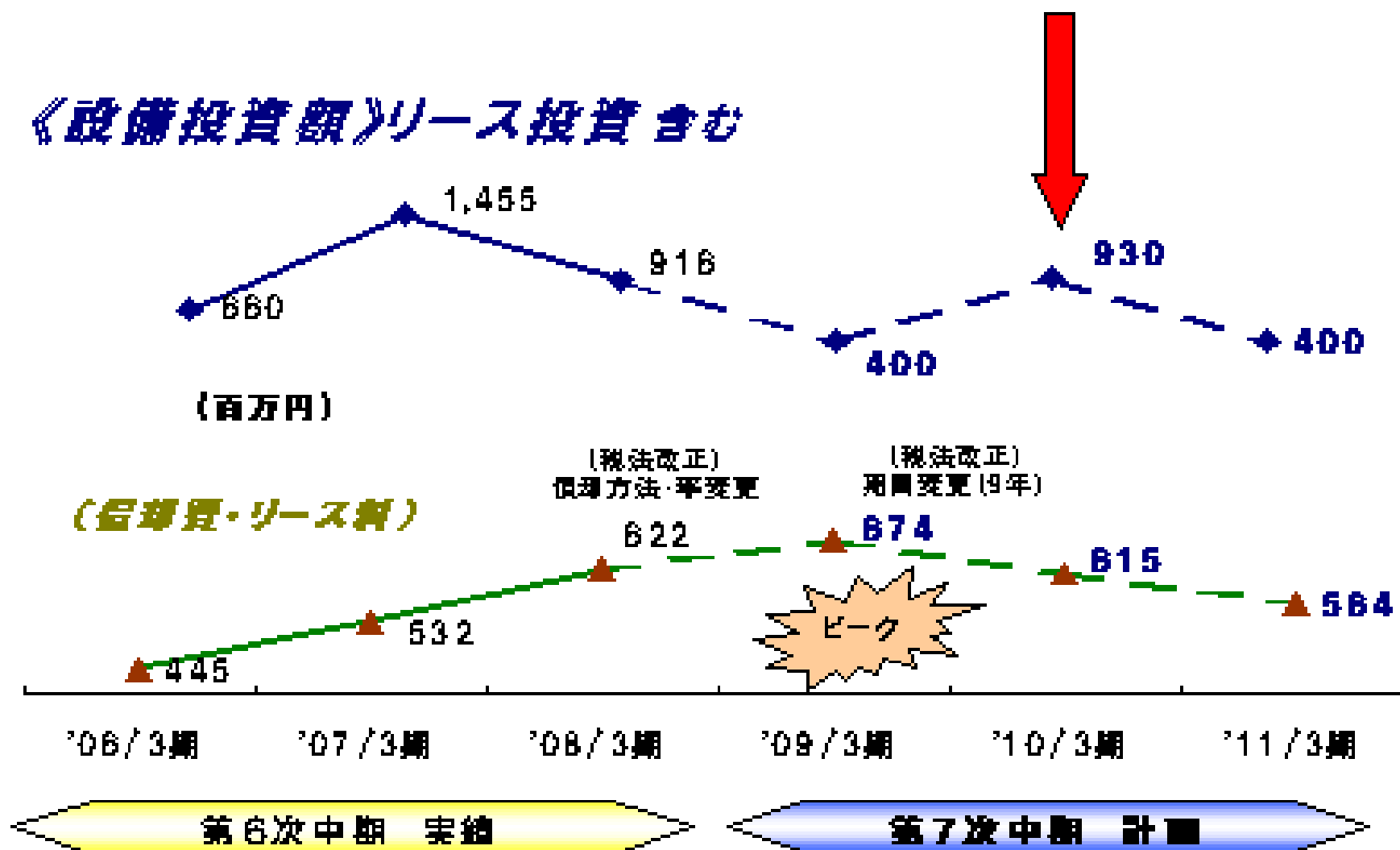
'11/3期...売上比 2%台を確保する。



【設備投資】

第7中期計画1,730百万円（'10/3期冷鉄工場土地500百万円）

《設備投資額》リース投資含む



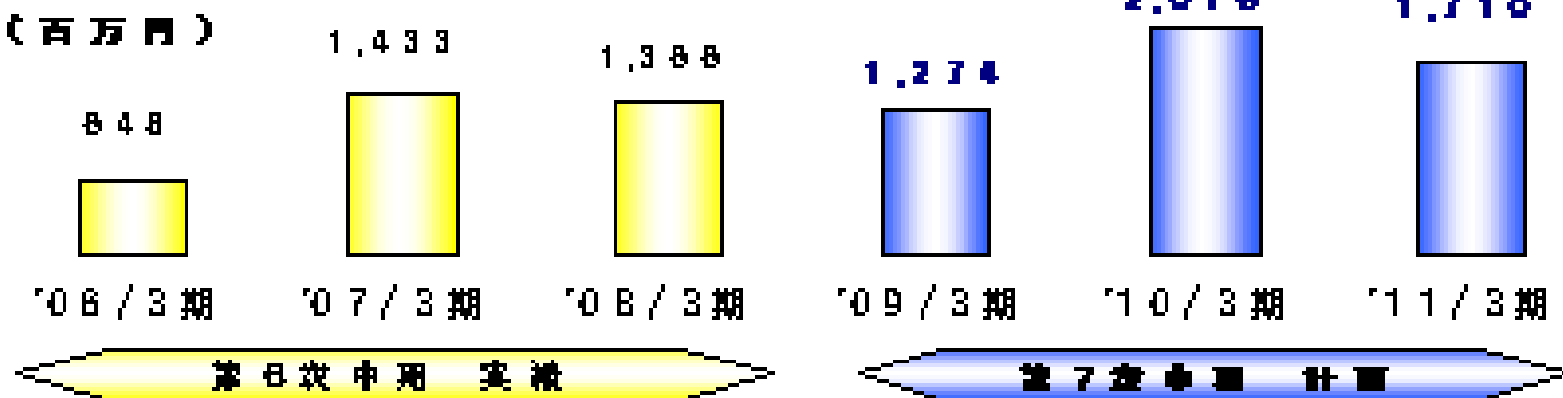
【有利子負債依存度・負債額】

'10/3期...アジア投資500百万円、冷緩工場土地500百万円調達予定

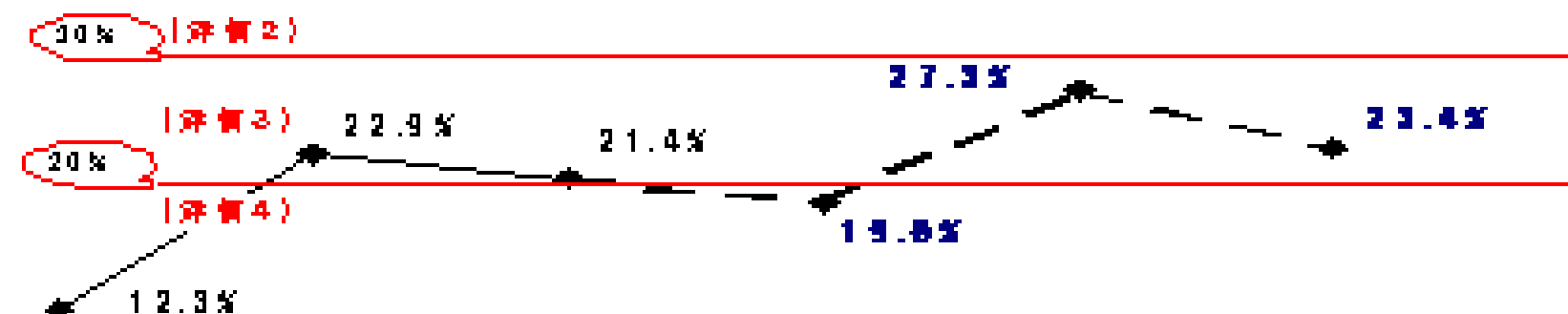


《有利子負債額》

(百万円)

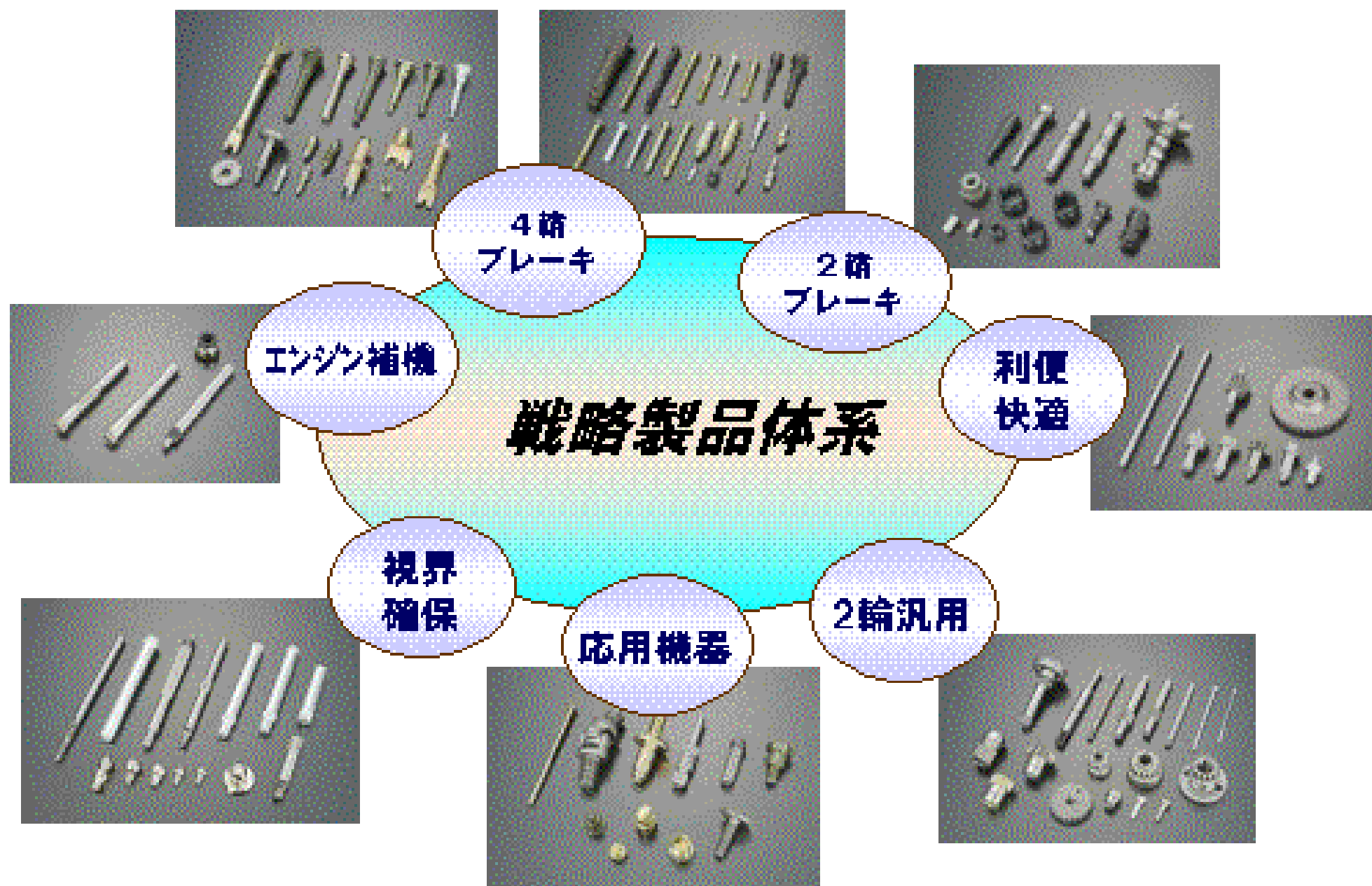


《有利子負債依存度》



3. 販売戦略

【戦略製品体系SPU】

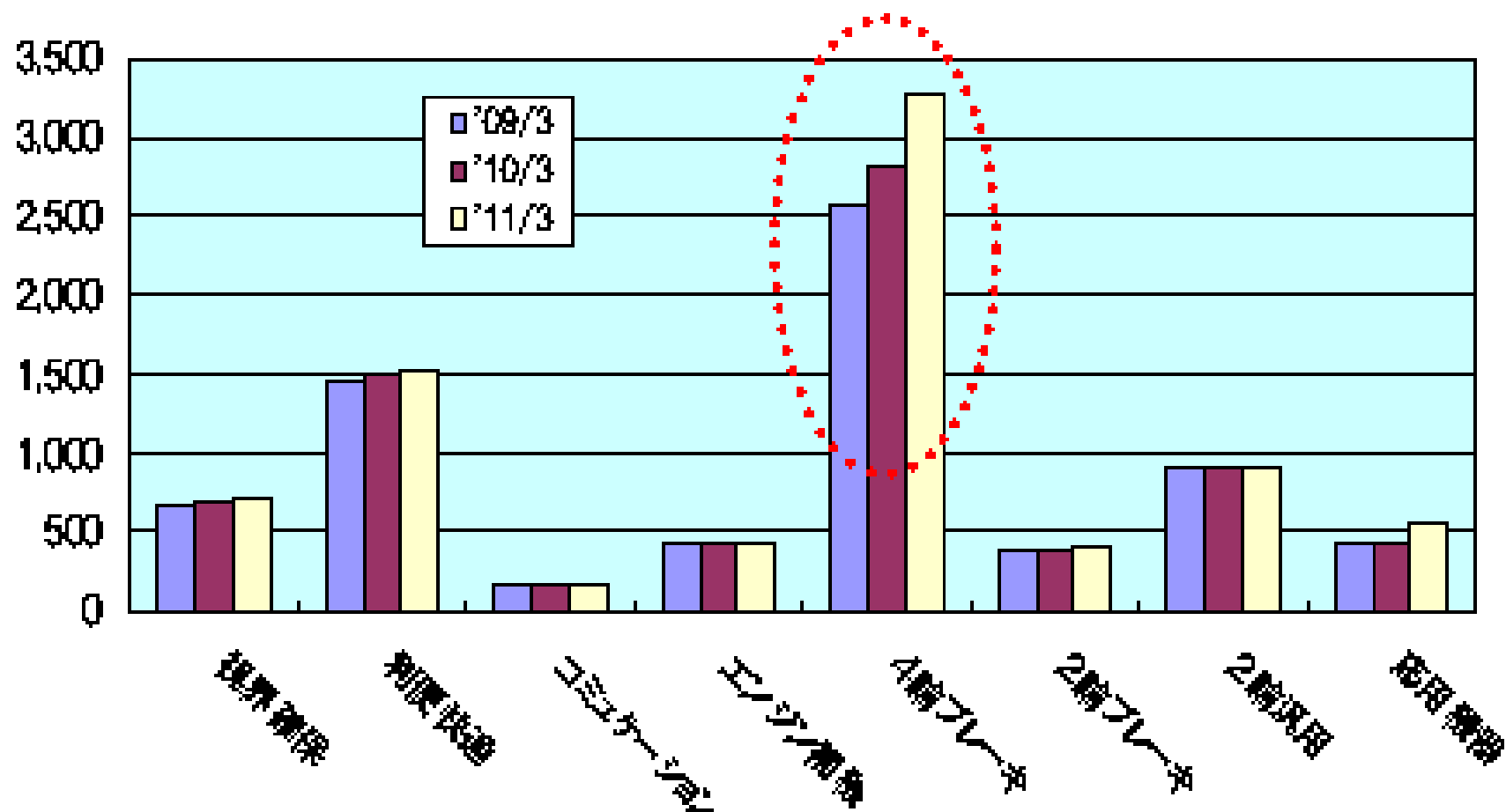


【SPU別計画】

'11/3期(中期最終年)

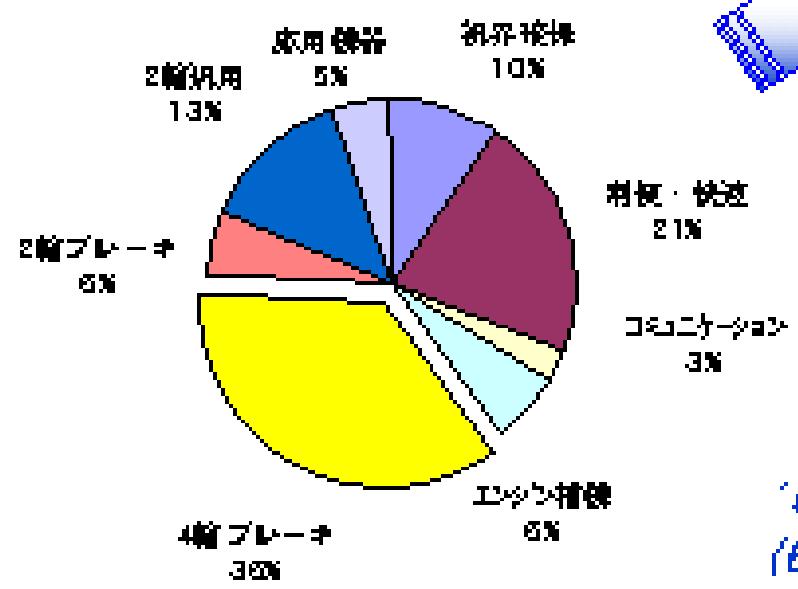
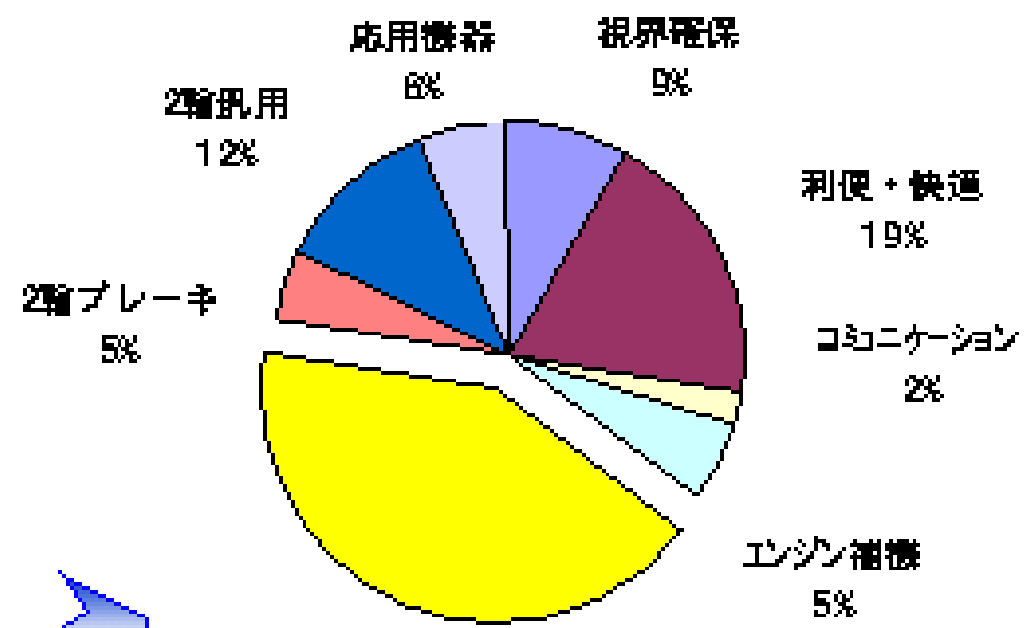
...7,800百万円を達成させる

(百万円)



【SPU別シェアの変化】

ミツバ50%の維持と
ブレーキの拡大

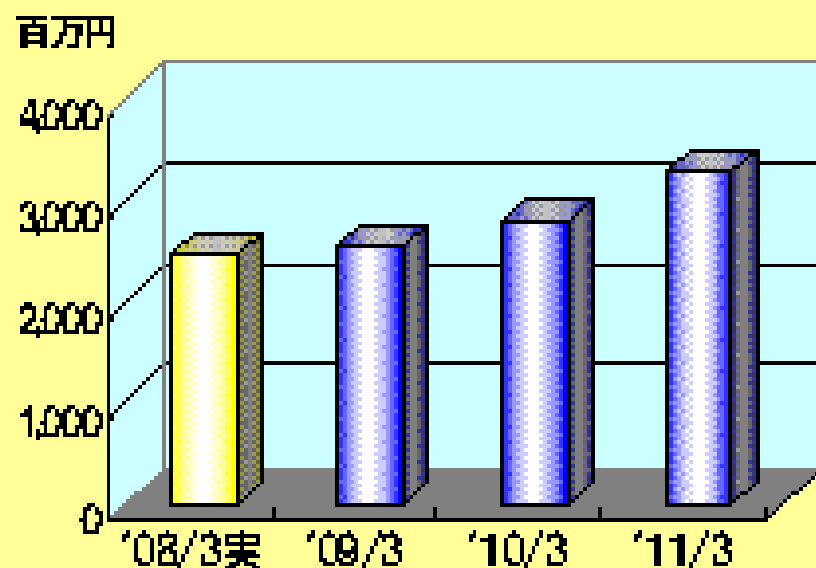


'08/3期実績
(6,924百万円)

'11/3期計画
(7,800百万円)
+12.7%

① 4輪ブレーキ(ディスク・ドラムブレーキ)

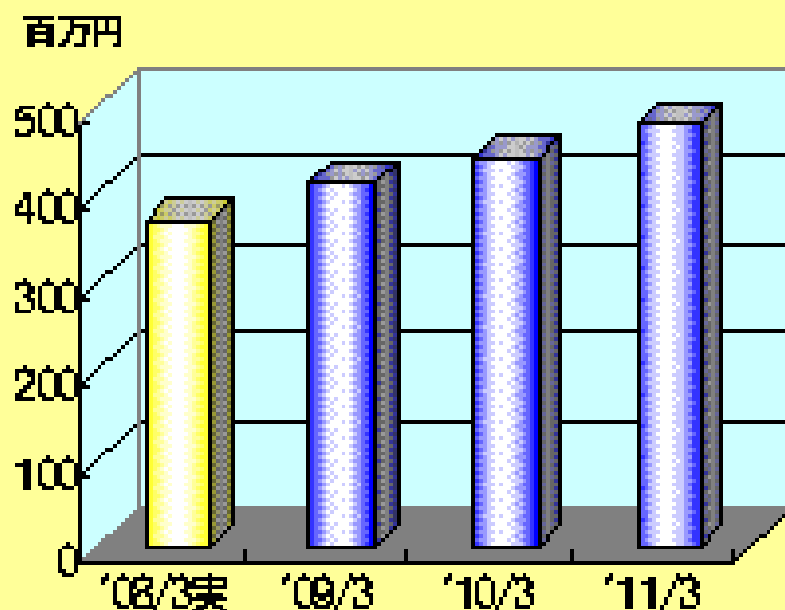
◆計画 '08/3期 2,474百万円 ⇒ '11/3期 3,269百万円(+32%)



1. 商圏の拡大 → トヨタ圏への参入
2. 冷鍛技術を使った拡大
3. ユニット製品の拡大

② 応用機器 (産業機械etc.)

◆計画 '08/3期 369百万円 ⇒ '11/3期 480百万円 (+30%)



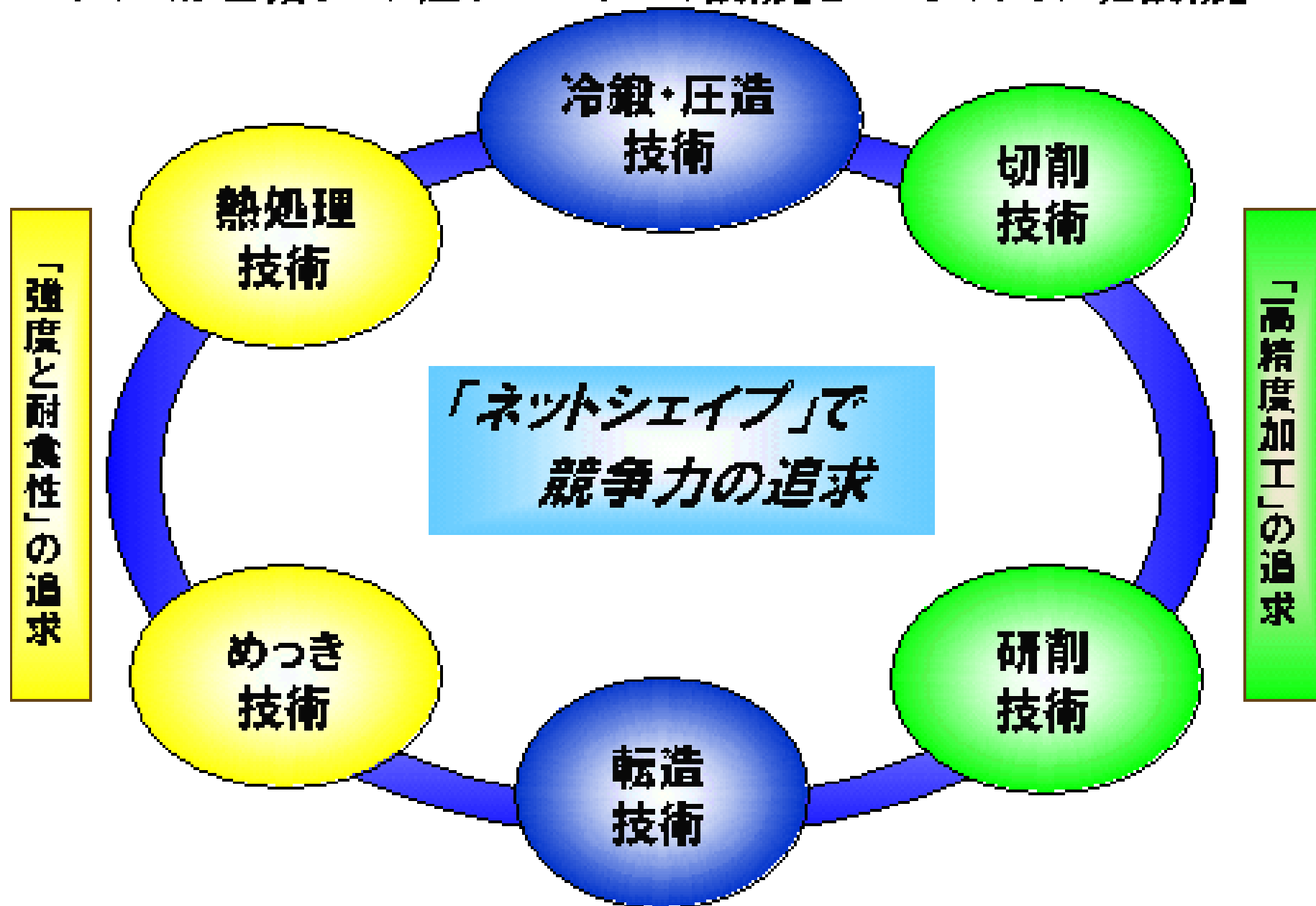
中国向け建設機械油圧制御用部品 (ジョイント・アッシー) の増産
'08/3期 2万本/月 ⇒ '11/3期 4万本/月 (倍増以上)

4. 技術戰略

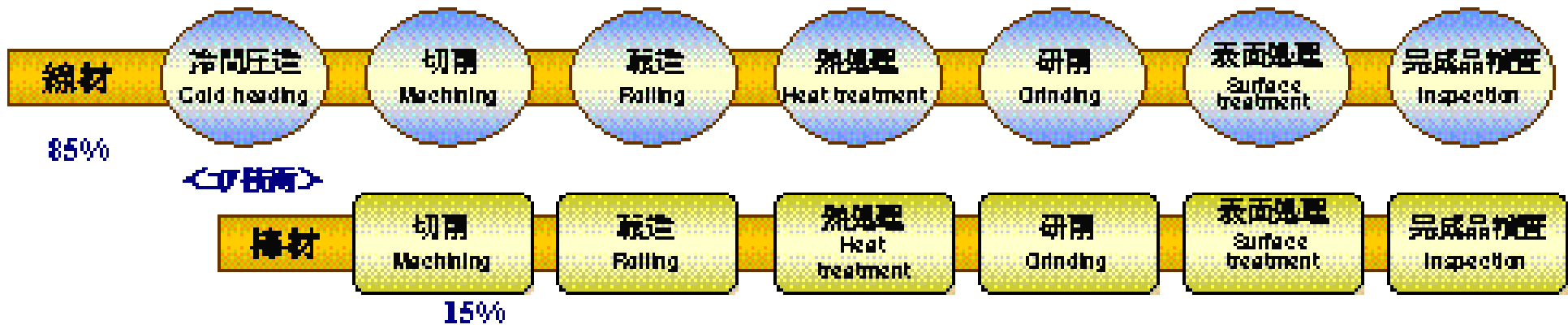
【成長戦略を支える技術】

技術解説

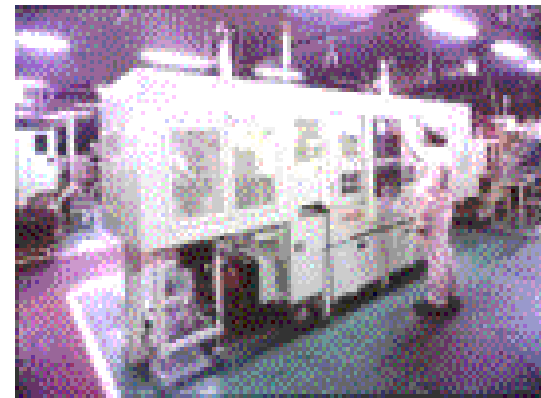
タツミが目指すモノ造り ⇒ 『6つの技術』と『つなぐライン化技術』



【一貫生産システム】



圧造機



NC切削機



全自動 熱処理装置



研削盤 円筒・球面・端面・成形



転造盤 1号機・2号機・3号機



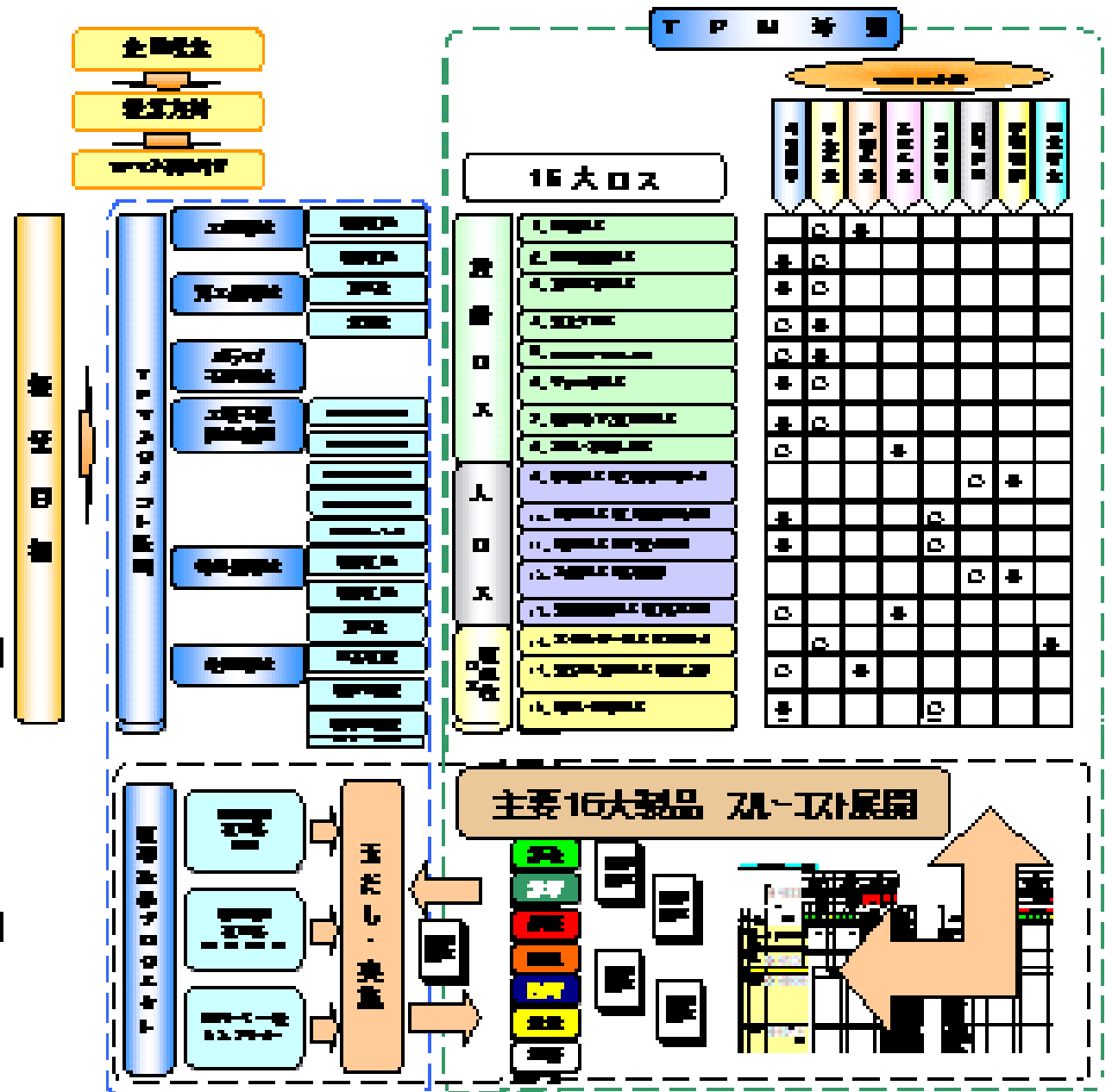
自動亜鉛めっき装置 1号機・2号機

【競争力UP】

(1)年次10%の生産性UP
... TPマネジメント

(2)スルーコスト展開
[16大製品]
... TPM活動
... 原価改善Prj. 活動

(3)3億円/年の原価改善
... TPマネジメント
... 原価改善Prj. 活動



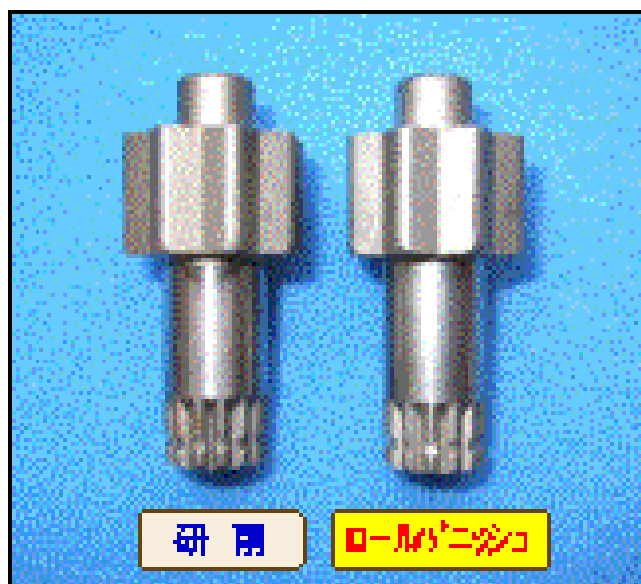
【歩留り改善】

『研削加工→ロールバニツシユ：1工程変更』

【従来工程】 ①圧造 ②切削A ③ 切削B ④ 研削



【改善工程】 ①圧造 ②切削A ③ 切削B ④ ロールバニツシユ



- 1) 加工時間短縮 ... ▲25%
- 2) 製造原価低減 ... ▲10%

【試作機能の拡充】

①受注獲得の為の開発サービス ②開発リードタイム短縮

- 1) 試作専任者 ... '05/3期2名, '06~'08/3期3名
- 2) 試作専用設備を技術部棟1Fに移設集約 ... '08/3期
- 3) NC複合旋盤の導入 ... '09/3期

『試作場 全景』



◆試作リードタイムの短縮

...▲10% ('08/3期)

⇒▲25% ('11/3期)

◆試作の内製化

...31% ('08/3期)

⇒50% ('11/3期)

【金型の自前化】

『ギヤ形状等の高付加価値な金型の内製化』

1)内製化による取込み金額(内製率20%)

…50百万円/年(08/3期) ⇒ **80百万円/年(11/3期)**

2)金型製作のリードタイム短縮

…35日(08/3期) ⇒ **28日(11/3期)**

3)金型寿命UP … **30%UP(11/3期)**



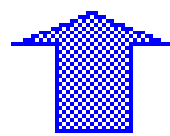
【生産システムの進化】

一貫ライン化

第6次中期
 ◆タツミ(JPN) ... 6本ライン
 ◆メキシコ(MEX) ... 2本ライン

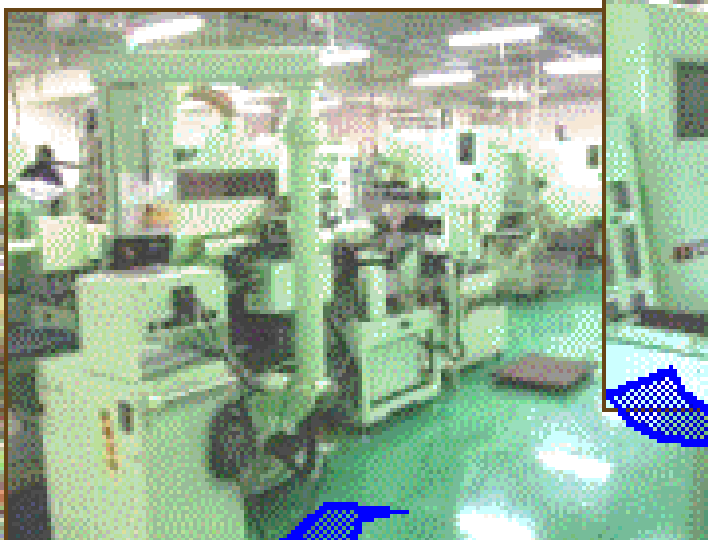


第7次中期
 ◆タツミ(JPN) ... 10本ライン
 ◆メキシコ(MEX) ... 3本ライン



『一目ライン』

『製品別職場』



『加工群職場』



- 1) リードタイム短縮 ... ▲90%
- 2) 仕掛り在庫削減 ... ▲80%
- 3) 生産要員の最少化 ... ▲66%

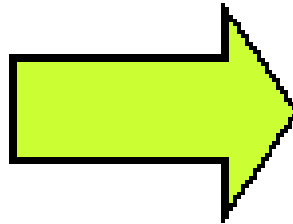
【冷鍛・圧造コラボ】

現行冷鍛量産品

ディーゼルエンジン用ウォーターポンプ/シャフト



大型2輪用 動力伝達シャフト

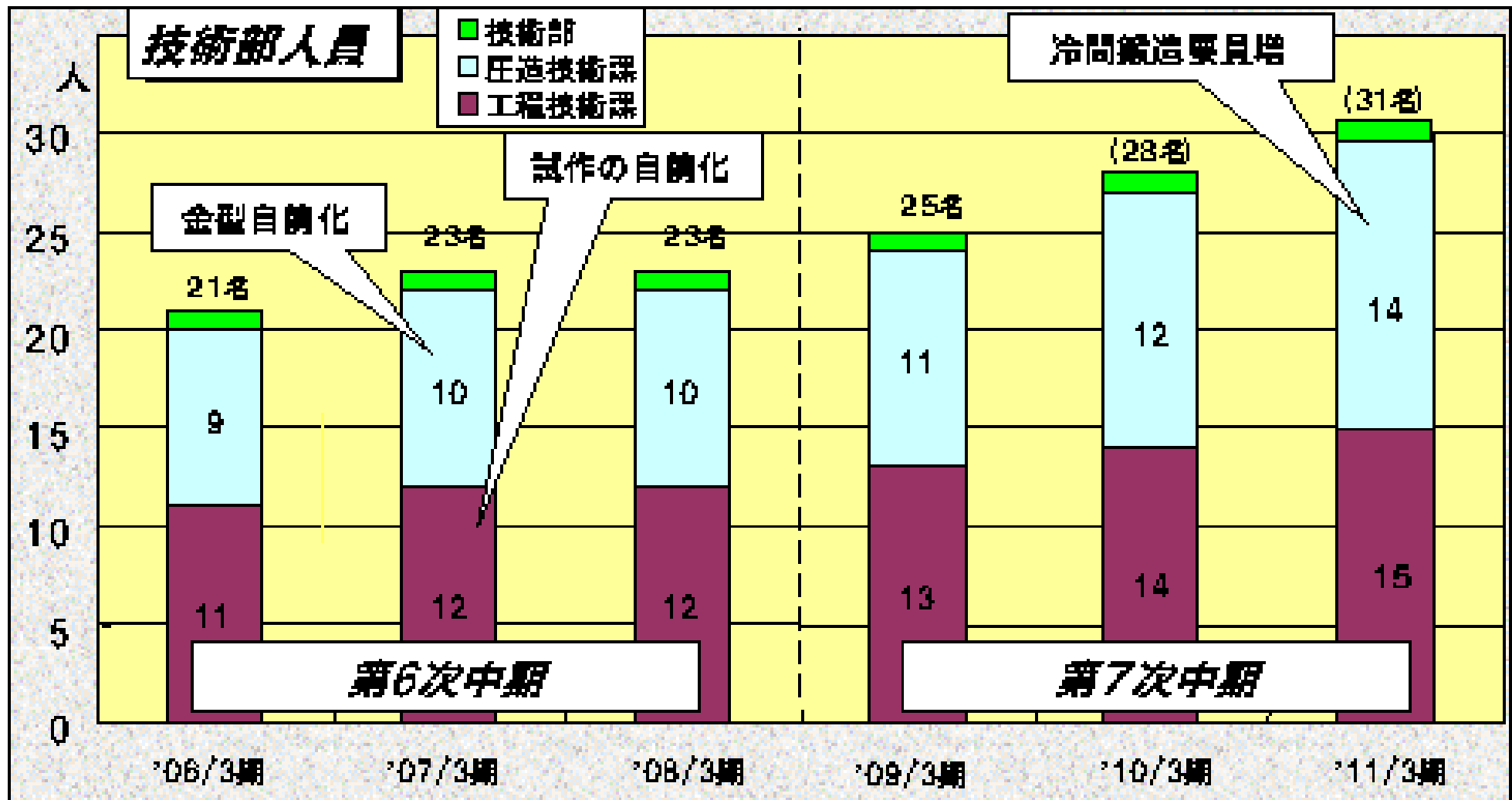


冷鍛拡大品

- ・電装品用部品
- ・ブレーキ用部品
- ・ミッション用部品
- ・エンジン周り部品
- ・産業機械部品

【開発体制・要員の拡充】

- ①開発エンジニアの増員 23名（'08/3期）→ 31名 /（'11/3期） +35%
- ②開発機能の専任化（CAD要員・試作要員）
- ③金型製作・試作加工の自前化



5. 成長戦略

【脅威と機会】

1. 日本の販売は伸びない ⇒ **“過当競争”**に入る。
海外工場の稼働 ⇒ 生産する処で調達。
2. **“トヨタ品質”**で**“チャイナコスト”**を要求される。
3. 資源(原材料および原油等)高は継続する。

【タツミの強み】

1. 冷鍛・田造・機械加工・熱処理・メッキ設備を有し、
“社内一貫加工体制”を有する。
2. **“塑性加工技術”**をコアとしているので、材料歩留まりが高い。
3. 生産管理の仕組みとしてL-MACS(ERP)を導入、**後工程引取り定着**に向け進行中である。
4. **戦略製品**と言われる**主要製品の柱を複数**もっている。

2013年ビジョン(第8次中期最終年度目標)

《売上高》

'08/3期実績(57期)

69億円

'11/3期計画(60期)

78億円

'14/3期目標(63期)

100億円

JASDAQ中堅企業となるために...

6. コーポレート・ガバナンス

【基本的な考え方】

当社は、株主及び投資家重視の基本方針のもと、積極的なディスクロースに努め、経営の透明性向上を図っております。

そして、多方面からの意見は、スピーディーに企業改善に反映すべく、経営体制の構築に取り組んでおります。

また、内部統制システムの整備やリスク管理の強化など、継続的にコーポレート・ガバナンスの強化に努めています。

【体制と取組み】

1. 経営者と従業員の業務執行に対する内外からの監視体制を強化するために、監査役、会計監査人、内部監査室の三層監査体制を整えています。
2. 監査役会は、常勤監査役1名、非常勤監査役3名(うち2名は社外監査役)です。
3. 内部監査室は、2名の専任スタッフによって構成され、公正かつ独立の立場で、経営諸活動の遂行状況を検討・評価し、助言や勧告を行っています。

7. CSR(企業の社会的信頼)

【目的】

《社会の期待に応え、信頼される企業であり続けることです。》

- | | |
|-----------|-------------|
| (1) 法的信頼 | (3) 倫理的信頼 |
| (2) 経済的信頼 | (4) 社会貢献的信頼 |

【活動領域の目標】

- (1) コンプライアンス(遵法経営)...法令・法律を遵守する体制の定着
- (2) リスクマネジメント(危機管理体制)
 - ...リスクを事前に予防し、緊急時のアクションプランを策定し、実行体制が機能している。
- (3) 情報開示...ステークホルダーに適時、経営情報を開示している。
- (4) 社会貢献...社会の一員としての役割を果たしている。
- (5) 企業倫理...社会の期待に応える倫理行動を実践している。

【体制と取組み】

2007年4月にCSR委員会、コンプライアンス委員会、リスクマネジメント委員会を設置し、活動を進めています。
また、社内相談窓口を規定し、問題の早期発見・解決に努めています。

ご清聴ありがとうございました。

本資料に記載されている当社の業績の予想等は、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因要素によって予想数値と異なる場合があります。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社 タツミ

業務部

TEL：0284-71-3131